

特集／外から「日本」を見直す／その9

# 外から「日本」を見直すための10冊

日本はどのように外から見られ、また自分自身を見てきたのでしょうか。過去から現在に至るまで、実に多くの日本論や日本人論が外国人や日本人によって著されています。そのなかから、時代や切り口の異なる10冊を選びました。これらの視点を踏まえて改めて見直したとき、どのような「日本」が浮かび上がってくるのでしょうか。



『新編 日本の面影』 『日本人論』再考 『茶の本』 『日本人と日本文化』 (対談)司馬遼太郎、ドナルド・キーン 『逝きし世の面影』 『風土の日本』 自然と文化の通感 『日本美の再発見』 (増補改訳版) 『日本奥地紀行』 『外国人による日本論の名著』 ゴンチャロフからパンゲまで 『日本的なもの』とは何か ジャポニスムからクール・ジャパンへ

ハーンの代表作『知られぬ日本の面影』より、来日時から最初の赴任地松江を去るまでの文章を収録。当時の訪日外国人を戸惑わせた日本のアニミズム的な宗教観やあいまいな微笑を、ハーンは日本人の豊かな精神性と捉える。文化の多元性を尊重したハーンの視点は、今なお色褪せることがない。

ラファディオ・ハーン著、池田 雅之訳  
角川ソフィア文庫／2000年

明治以降150年に及ぶ日本人論の歴史を総括する。『武士道』から『菊と刀』『甘え』の構造』まで、日本人論が近代化とともに量産されてきた背景には、ナショナリズムの高揚や敗戦、高度経済成長など、日本人としてのアイデンティティを揺るがす危機があったと説く一冊。

船曳 建夫著  
講談社学術文庫／2010年

美術研究家、思想家の岡倉天心が米国滞在中に英語を駆使し、本名の覚三名義で著した本書は、『茶』から日本文化の読み解きを試みた文明論。宗教の起源をもち、芸術的感受性にまで影響を及ぼしてきた「茶」の精神を西洋文化と対比させた本書は、日本文化の啓発書として世界で読み継がれている。

岡倉 覚三著、村岡 博訳  
岩波文庫／1929年

日本文学の優れた研究者であるキーン氏と雄大な構想で歴史と人物を描いた作家司馬氏による対談。平安から江戸の文化、日本人の宗教観、モラル、戦争観など幅広い知識をもつ両氏が、『双方の体温で感じ取った日本文化』を語る。海外の視点と歴史の視点両方が絶妙にからみあい、興味がつきない。

司馬 遼太郎、ドナルド・キーン著  
中公文庫／1984年

開国当時の来日外国人による記録をもとに、西洋化する前の失われた日本文明の姿を鮮明に描き出した一冊。人々の無欲ぶりや無邪気さ、剃き出しの性、子どもへの寛容さなど、外国人という鏡に映し出された在りし日の民衆の「豊かさ」が甦るとき、西洋化の道へと突き進んだ近代の意味が逆説的に浮かび上がる。

渡辺 京二著  
平凡社ライブラリー／2005年

フランス日本学の第一人者である著者が、日本の風土を「milieu(ミリュー)=間の場所」という独自の概念で位置づけた、新たな自然観を提唱。日本の気象や植生などを詳細に記し、ヨーロッパの哲学や地理学を照らし合わせ、さらに独自の風土観念も加えた哲学的思考により、高度な日本論としても読める一冊。

オギュスタン・ベルク著、篠田 勝英訳  
ちくま学芸文庫／1992年

1930年代の日本に滞在したドイツ人建築家による日本文化論の名著。「一切は清純であり、それ故にまた限りなく美しい」——桂離宮や伊勢神宮、飛騨白川の農家など、その装飾を省いた簡素さにこそ日本美の極致を見出すタウトの視点は、私たちが見慣れた光景を今なお価値あるものとして再発見させてくれる。

ブルーノ・タウト著、篠田 英雄訳  
岩波新書／1962年

文明開化期の明治日本を訪れたイギリス人女性イザベラ・バードによる、東京から北海道までの旅行記。正確な観察眼と精緻なスケッチで習俗や風物を克明に描き出した貴重な資料であるとともに、日本文化への感嘆と批判が入り交ったバードの文章からは、当時の日本への視点をのぞき取れる。

イザベラ・バード著、高梨 健吉訳  
平凡社ライブラリー／2000年

幕末開国前後以降に外国人によって書かれた、優れた日本人論42篇を選んで解説する。「謎と神秘の国」として異国人を魅了した開国直後の時代から、世界を驚かせた日露戦争を経て、敗戦から驚異的な復興を遂げ世界第二の経済大国に成長した「奇蹟」の70年代に至るまでの、日本への眼差しの変遷が綴られる。

佐伯 彰一、芳賀 徹編著  
中公新書／1987年

19世紀末から20世紀を通して、世界が発見した「日本」と、日本人が視覚化して伝えた「ジャパネスク」の構造を、日本近代の文化表象の特色と捉える著者が、かつての、さらにこれからの「日本的なものとは何か」を問う。文芸や美術、建築など、日本を象徴するさまざまな作品の成り立ちをたどり見えてくるものとは？

柴崎 信三著  
筑摩選書／2015年